

温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業



【令和6年度予算額 2,423百万円 (2,800百万円)】
【令和5年度補正予算額 940百万円】

衛星等による人為起源温室効果ガス排出源の特定及び排出量推計精度の向上を目指します。

1. 事業目的

- ① 世界の各国がGOSATシリーズの観測データを用いて温室効果ガス（GHG）排出量の比較評価を実施できるよう、継続的な運用を通じて、地球全体（全球）におけるGHGの観測体制を維持する。
- ② パリ協定に基づき行われるグローバル・ストックテイクへの継続的な貢献を目指し、各国による排出インベントリの報告とは別の手法で、客観性の高い独立した排出量検証手法を確立し、排出インベントリの透明性確保を目指す。

2. 事業内容

①GOSAT-2衛星観測システムの運用

- ・ 2018年に打ち上げたGOSAT-2の運用（衛星の軌道制御、健全性の確認、捕捉・追尾、データの受信・処理、観測データの品質管理等）を継続実施する。

②GHG濃度算出と人為起源排出量の推計・検証

- ・ GOSATシリーズ等の観測データを用いて、各国が公表しているGHG排出インベントリとの比較・評価を実施する。また、GOSAT-GW（3号機）のミッション要求に従った準備を進める。そのために令和6年度は下記の事項を実施する。

- (1) GHG濃度算出アルゴリズムの高度化
- (2) 高次プロダクトの検証
- (3) 人為起源GHG排出量推計・検証

③GOSAT-GW衛星観測システムの製造

- ・ 宇宙基本計画（令和5年6月閣議決定）及び工程表に基づき、GOSAT-GWの令和6年度の打上げに向け観測システムの開発・製造を着実に実施する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体等
- 実施期間 平成26年度～

4. 事業イメージ

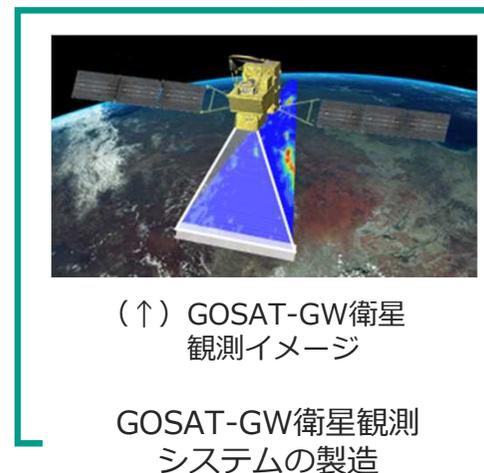


Image courtesy of JAXA and NIES

お問合せ先： 環境省地球環境局総務課気候変動観測研究戦略室 電話：03-5521-8247